港区
平和関連史跡MAP

芝・白金高輪コース

芝地区には、「阿波丸事件殉難者之碑」をはじめとする戦争関係の碑が数多く残されています。また区立芝公園には、戦争の惨禍と平和の尊さを後世に伝えるために「平和の灯」が設置されています。高輪及び白金台付近は、第二次世界大戦のとき、最も空襲の被害が少なかった地域です。

●都営地下鉄三田線 **芝公園駅**

1 芝東照宮のイチョウ

芝公園4-8-10

東京大空襲及び東京山の手地区大空襲において、増上寺、徳川家霊廟ならびに東照宮の建造物の多くが焼け落ちました。東照宮の境内には、高さ25.5m、目通り（立木の目の高さの位置：およそ1.5m）の幹の周囲6.45mとなるイチョウの木がそびえています。この木は樹齢が350年に達すると考えられており、空襲を免れた貴重な歴史の証人でもあります。

立ち寄ってみませんか？
その他の見どころスポット

泉岳寺 高輪2-11-1

赤穂の城主・浅野家の菩提寺で、当主内匠頭長矩のほか内匠頭夫人、四十七士の墓があります。

国立科学博物館附属自然教育園

白金台5-21-5

昭和24年(1949年)に天然記念物・史跡に指定された、武蔵野の景観が残る植物園。園内は3つの植物園に分かれています。樹木園や池もあり、散策に最適な都会のオアシスです。

東京都庭園美術館 白金台5-21-9

昭和8年(1933年)に建てられた、アール・デコ様式の旧朝香宮邸を使った美術館です。フランスのガラス工芸家ラリックらによる華やかな内装が見どころ。広い芝生の庭園やレストランもあります。

2 平和の灯
被爆アオギリⅡ世・クスノキⅡ世

芝公園4-8-4 （区立芝公園内）

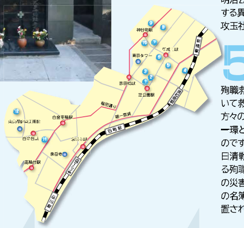
この「平和の灯」は港区が、昭和60年(1985年)8月15日に「港区平和都市宣言」を行ってから20年が経ったことを記念して作られました。

ここにともされた「火」は、広島市の「平和の灯（ともしび）」、福岡県八女市の「平和の火」、長崎市の「ナガサキ誓いの火」を合わせたものです。また、同公園内には、平和都市宣言20周年事業の一環として、広島・長崎へ投下された原子爆弾の熱線と爆風を生き抜いたアオギリ・クスノキの種から育てられたアオギリⅡ世・クスノキⅡ世が植樹されています。（※クスノキⅡ世は南青山六丁目の高樹町交差点付近にもあります。）

3 阿波丸事件殉難者之碑

芝公園 4-7-35 （増上寺内）

阿波丸は、第二次世界大戦の終わりころ、日本が占領していた南方の連合国側の捕虜や抑留者に物資を送るために準備された貨客船です。往復の安全が保障されていたにもかかわらず、昭和20年(1945年)4月1日、任務を果たし、日本へ戻る途中、台湾海峡でアメリカ軍の潜水艦によって撃沈されました。



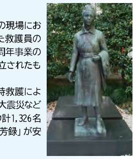
4 慶應義塾・攻玉社跡

浜松町1-13-1

教育者である近藤真琴は、明治4年(1871年)に芝新銭座（現・浜松町）の慶應義塾跡において攻玉塾（こうぎょくじゅく、後の攻玉社）を開学しました。もともとこの地は、慶応4年(1868年)に福澤諭吉が蘭学塾―慶應義塾―を移してきたところです。福澤は、明治4年に慶應義塾を三田の現在地に再び移しますが、この折、福澤は近藤に300円で土地と建物を譲ったと言われています。明治22年(1889年)に海軍予備科が創設されると、主に海軍将校を養成する異色の学校として名を馳せました。しかし、関東大震災で被災した攻玉社は、大正14年(1925年)に現在の品川区西五反田に移転しました。

5 救護看護婦立像・殉職救護員慰霊碑

芝大門1-1-3



殉職救護員慰霊碑は、戦地や災害の現場において救護活動に従事し、殉職された救護員の方々のため、日本赤十字社創立100周年事業の一環として昭和52年(1977年)に建立されたものです。

日清戦争から第二次世界大戦の戦時救護による殉職救護員1,317名、および関東大震災などの災害救護による殉職救護員9名の計1,326名の名簿と各人の功績を収録した「遺芳録」が安置されています。

6 こども平和塔

芝公園4 （都立芝公園内）

第二次世界大戦後の混乱の中で戦争の犠牲となった方々をなぐさめるため、世界の永遠の平和を願う全国の小・中学生たちの手によってできた塔です。昭和25年(1950年)の「こどもの日」、こども平和塔の建立が決まり、「こどもの手による『こども平和塔』建立資金運動」として、広く全国の小・中学校の児童会・生徒会に呼びかけられました。そして全国1,051の学校において、児童・生徒がおやつ代や小遣いを節約して塔を建てることに応えてくれたのでした。その額は約100万円になったといいます。

これに共鳴したたくさんの会社や各種協会、社会事業団体、個人などの賛助によって、総額およそ500万円の基金が集まりました。

塔の上部には、平和の象徴であるハトが三羽描かれています。

7 爆弾三勇士の一人、江下武二像

愛宕2-4-7 （青松寺内）

青松寺境内には、上海事変中の昭和7年(1932年)2月、上海郊外において中国軍が築いた鉄条網に対して突破口となる突撃路を開いた江下武二像があります。非公開。

8 殉皇十二烈士女之碑

愛宕1-5-3 （愛宕神社内）

終戦後、自決を遂げた人々の碑があります。毎年、慰霊祭が執り行われています。

9 葺城稲荷神社

虎ノ門4-1-3

投下された爆弾が残っています。

10 光明寺

虎ノ門3-25-1

第二次世界大戦の際に、供出され、里帰りした梵鐘（ぼんしょう）があります。

11 白金海軍墓地

白金台1 （明治学院大学敷地内）

旧海軍軍人の墓地です。

※一般公開はされていません。

12 軍隊の火薬庫跡

白金台5-21-5 （国立自然教育園ほか）

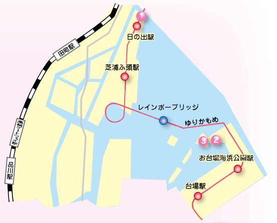
明治時代、陸軍・海軍の火薬庫がありました。

●都営地下鉄三田線・東京メトロ南北線 **白金台駅**

ベイエリアコース

第二次世界大戦の空襲は、区の海岸地帯にもおよびました。この地区の代表的な戦争関係史跡が台場です。

日の出桟橋や竹芝埠頭は戦時中、戦争物資の積み出し港として使われました。



1 日の出桟橋

海岸2

終戦の翌年に米国救済統制委員会が設置を認可したアメリカの慈善団体から、被災した日本人へ救援物資（当時、ララ物資と言っていた）が届いた港です。

●ゆりかもめ **日の出駅**

●ゆりかもめ **お台場海浜公園駅**

2 慰霊碑

台場1 （第三台場入口通路）

大正12年(1923年)9月に起こった関東大震災の被災者は数十万人にも及ぶといわれています。このうち、隅田川で命を絶たれた人の幾多は川下に流れ、ここ第三台場付近に漂着しました。その後、第二次世界大戦の勃発により日本も戦時下におかれ、昭和20年(1945年)4月20日頃から東京大空襲による被災者の遺体が台場付近に多数漂着しました。この慰霊碑は、これらの被災により亡くなられた人々の供養のためにできたものです。

3 第三台場

台場1

嘉永6年(1853年)に作られた第三台場は、昭和3年(1928年)に再整備され、現在は台場公園として開放されています。砲台の跡が残っている園内からは、レインボーブリッジを間近に見ることができます。大正15年(1926年)、国の史跡に指定されました。

●ゆりかもめ **お台場海浜公園駅**

コラム

黒船と台場

嘉永6年(1853年)、浦賀沖に4隻の外国船が姿を現しました。どれも大きな船でしたが、ひときわ大きい船の全長は約78m、和船の大きいものの2倍以上でした。ペリー率いる「黒船」の来航です。来航の情報に江戸は一大パニックになり、幕府は黒船の再来航に備えて防衛体制を模索します。そうした中で具体化したのが、品川沖に砲台場を築造するというものでした。幕府は江川太郎左衛門を責任者として、急いで台場を造るよう指示しました。早くも同年8月には、第一・第二・第三台場が起工、翌年4月に完成しました。続いて第四・第五・第六・第七台場も嘉永7年(1854年)1月に起工し、第五・第六台場のみ11月に完成します。しかし、第四台場についてはペリーの再来航に間に合わず、未完成のまま放置されました。当初11か所作る予定でしたが、結局、実際に完成したものは6か所で、その台場も実際の戦闘には用いられませんでした。その後、東京港築港に伴って第一・第五台場は防波堤や埋立地になり、第二台場はとりこわされました。現存しているのは第三台場と第六台場のみで、第三台場は現在台場公園として公開されています。

埠頭公園（海岸3-14）

少年野球場の隣に、投下された爆弾が展示されていました。

東水園

終戦直後には、戦時中にもまして悲惨な生活を送らなければならない子どもたちが多く、そのほとんどは戦争孤児（戦災孤児）と呼ばれた子どもたちでした。こうした孤児のため、戦後まもなくして、第五台場の見張所を活用して開設された施設が東水園です。その後、第一台場に移りました。

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つこどもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和６０年８月１５日

港　区

区　の　木	区　の　花	
ハナミズキ	アジサイ	バラ
ミズキ科 北米原産　外来種 落葉広葉樹	ユキノシタ科 日本（関東南部）原産 落葉広葉樹（1.5～2.0m）	バラ科 日本、中国、欧州原産 常緑落葉低木つる

港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。この「港区平和関連史跡MAP」は、古紙を活用した再生紙を使用しています。

発　行　港区総務部人権・男女平等参画担当
港区芝公園1-5-25
TEL 03-3578-2111（内線）2014

発行年月　令和7年（2025年）1月

発行番号：2024136-6421

赤坂・青山コース

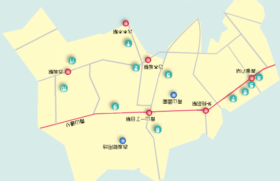
赤坂には、近衛歩兵第三連隊（現赤坂五丁目）、歩兵第一連隊（現赤坂九丁目）、現在の北青山には陸軍大学校などの軍関係施設が多数置かれていました。日露戦争の際に軍功をあげた乃木希典の邸宅や二・二六事件のときに暗殺された当時の蔵相・高橋是清の屋敷跡も、この地域にあります。

●都営地下鉄大江戸線・東京メトロ日比谷線 **六本木駅**

1 旧歩兵第一連隊跡

赤坂9

この地に歩兵、第一連隊があったことを残す碑です。



2 旧乃木邸

赤坂8-11-32

日清・日露戦争を戦った陸軍大将乃木希典（のぎまれすけ、1849～1912）の邸宅です。乃木将軍の遺志により、公園として東京市に寄贈され、大正2年(1913年)に開設しました。園内には、将軍自身の設計によって改造された乃木将軍の邸宅や立派なレンガ造りの厩（うまや）も残されています。乃木将軍は明治天皇が亡くなった直後に自宅で、夫人とともに自刃しました。命日など、年に2回、邸内を一般公開しています。

青山霊園で眠る人々

乃木希典	明治時代の陸軍軍人。日清戦争・日露戦争等に参加。
尾崎紅葉	明治期の小説家。
大久保利通	維新後新政府の中心人物。士族により暗殺。
後藤新平	初代満鉄総裁。内・外相、東京市長。
副島種臣	幕末・明治期の政治家。
森有礼	英国公使。初代文部大臣。明治憲法発布の日に暗殺。
長岡半太郎	明治36年土星型原子模型を発表。
北里柴三郎	明治・大正期の細菌学者。ペスト菌を発見。
松方正義	明治期の政治家。松方財政を推進。
長谷川潔	特殊銅版画法マニエール・ノワールを復興。

立ち寄ってみませんか？
その他の見どころスポット

青山霊園 南青山2

3 「畝傍の森」の慰霊碑
～巡洋艦「畝傍（うねび）」・水雷艇駆撃艦「千島」～

南青山2 青山霊園

巡洋艦「畝傍」と水雷艇駆撃艦「千島」はともに明治時代にフランスで建造された軍艦です。畝傍は日清両国の対立が決定的となり、清国北洋艦隊に対抗しうる海軍力の増強のため発注されましたが、日本に届けられる前の明治19年(1886年)12月3日、シンガポール出港後、行方不明となりました。千島は当初通報艦として発注され、明治25年(1892年)4月18日に日本に向かって出港しましたが、11月30日、瀬戸内海の釣島水道興居島沖において英国船と衝突し、沈没しました。千島の慰霊碑は砲身で造られていて、鎖の支柱は砲弾が使われています。

4 明治神宮表参道の石灯篭

北青山3-5(表参道交差点付近)

戦火によって焼けた跡が今でも残っています。

5 区政60周年記念碑「和をのぞむ」

北青山3-6-12

赤坂地区総合支所の区政60周年記念事業として、戦災で亡くなられた方々を慰霊し、平和な世界への願いを込めて、区民協働により平成19年(2007年)1月に建立しました。

6 善光寺

北青山3-5

昭和20年(1945年)5月24、25日に青山・赤坂地区を中心に空襲があり、たくさんの犠牲者が出ました。先の空襲で犠牲になった人々の慰霊祭が、毎年5月25日に執り行われています。

7 青山師範学校跡（現東京学芸大学附属高等学校）

北青山3 ※現在、再開発のため工事中

就学児の増加による教員の不足を解消するため、明治30年(1897年)に師範学校校舎が新築されることが決まりました。場所については様々な候補が挙がりましたが、明治33年(1900年)4月、赤坂区青山北町5丁目にすることが決定しました。8月に校舎の一部が完成、男子のみが収容されており、校舎全部が完成したのは翌年3月です。明治41年(1908年)に東京府師範学校は「青山師範学校」と改称され、昭和11年(1936年)に世田谷区下馬へ移転するまで、36年間青山の地で教育が続けられました。

8 旧陸軍大学校跡

北青山1

もともと陸軍参謀本部内にありましたが、明治24年(1891年)に赤坂区青山北町に移転してきました。学術・軍事研究に必要な知識などを習得させるため、大尉や少佐といった中堅の幹部を学生として教育を行う陸軍の機関です。修学年限は3年でした。現在の陸上自衛隊幹部学校に相当するもので、昭和20年(1945年)の終戦まで存続しました。

コラム

港区の軍事教育施設

港区内には、士官などの軍人を育成するいくつかの教育機関が設置されました。青山の陸軍大学校（北青山一丁目）は代表的なものです。私立の教育機関としては、浜松町に近藤真琴が創設した攻玉社がありました。攻玉社は主に、海軍の軍人の養成機関として活動しました。

港区の連隊

明治時代以降、港区内にはいくつかの連隊や連隊司令部が置かれました。赤坂地区には、近衛歩兵第四連隊（北青山二丁目）、麻布連隊司令部（南青山一丁目）・第一師団司令部（南青山一丁目）・近衛歩兵第三連隊（赤坂五丁目）、歩兵第一連隊（赤坂九丁目）が、麻布地区には歩兵第三連隊（六本木七丁目）がありました。また、現在の自然教育園内に陸・海軍火薬庫が置かれるなど、区内の各所に軍関係の施設が設けられました。

9 高橋是清翁記念公園

赤坂7-3-39

高橋是清翁の邸宅があった場所です。翁は、昭和11年(1936年)2月26日、「二・二六事件」によりこの地において世を去りました。大正から昭和初期にかけて首相、蔵相をつとめた政治家です。

10 旧近衛歩兵第三連隊跡

赤坂5-3

赤坂一ツ木町にあった衛戍監獄を郊外に移し、この地に兵舎が新築されました。

●東京メトロ千代田線 **赤坂駅**

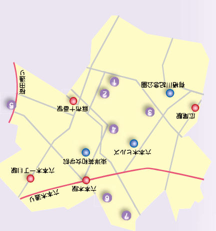
11 赤坂氷川神社のイチョウ

赤坂6-10-12

境内には空襲で焼けたイチョウの大木が残っています。

麻布・六本木コース

歩兵第三連隊（現六本木七丁目）が置かれていました。二・二六事件の謀議が行われた龍土軒（現六本木七丁目）や満州国大使館（現元麻布三丁目）、文豪永井荷風が昭和２０年（１９４５年）３月１０日の東京大空襲で焼け出された自宅跡（現六本木一丁目）も、この地域にありました。



●東京メトロ南北線 **麻布十番駅**

1 善福寺のイチョウ

元麻布1-6-21

昭和20年(1945年)の東京大空襲でかなりの被害を被りましたが蘇生しました。当時の炭化した跡が残っています。国指定天然記念物。以前、ここ善福寺には、大型の防空壕がありました。

立ち寄ってみませんか？
その他の見どころスポット

有栖川宮記念公園

南麻布5-7-29

江戸時代は南部藩の下屋敷でしたが、明治29年(1896年)に有栖川宮家の御用地となり、その後記念公園として開放。園内には都立中央図書館もあります。梅や桜、秋の紅葉が特に美しいです。

2 二十二士の墓

元麻布1-2-12（賢崇寺内）

昭和11年(1936年)2月26日に起きた、陸軍の皇道派青年将校を中心とするクーデター未遂事件に関わった22名のお墓があります。

3 駐日満州国大使館跡

元麻布3-4

現中華人民共和国大使館です。

4 ともちゃん地蔵

六本木6-11-16

旧満州収容所での親子の出来事

～ 3才のともちゃんに、お母さんは亡くなる前「お母さんに会いたくなったらおへそをみなさい。きっとお母さんの顔が見えるでしょう。」と言い残しました ～

5 水交社跡

麻布台2-4-5

旧海軍将校・士官の親睦団体。明治9年(1876年)に創設され、当時は築地に置かれていましたが、関東大震災後、この場所に移設されました。

6 龍土軒跡

六本木7-4-4

龍土軒とはフランス料理屋のことです。明治33年(1900年)に開業し、同37年(1904年)頃から若い文学者たちが定期的に会合を開くようになり同39年(1906年)5月に「龍土会」が結成されました。参集した島崎藤村、国木田独歩たちは、会食の合間にロシアや西欧の文学を紹介しあい、トルストイやモーパッサンについて語り合いました。

昭和11年(1936年)2月26日に起きた二・二六事件の前に関係者たちが集まり、計画を深めていった場所でもあります。

7 旧歩兵第三連隊跡

六本木7-22

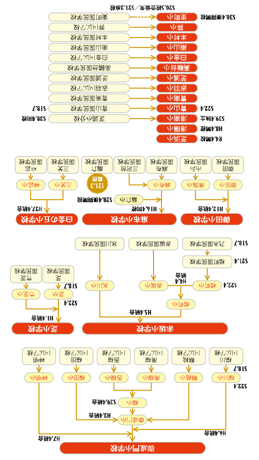
二・二六事件の舞台となった建物がありました。現在は、国立新美術館別館として兵舎の一部分が保存されています。

●東京メトロ千代田線 **乃木坂駅**

コラム

光明学校

明治5年(1872年)に「学制」が出されたあと、児童の就学率は上昇してきましたが、心身に障害のある児童の教育は取り残されてきました。昭和7年(1932年)、小学校に類する各種学校として東京市は麻布本村町に光明学校を作りました。我が国で初めて肢体不自由児の受入れを行った学校です。戦争の激化に伴い、小学生の疎開が始まりますが、光明学校の児童は受け入れ先の確保が難しく、まず世田谷区の本校に疎開した後、昭和19年(1944年)にようやく長野県へ疎開することができました。

港区の小学校の変遷